

2024年度日本獣医がん学会第2回通常理事会（メール会議）

日時：2024（令和6）年11月10日

場所：メール会議

出席者：（メール送信先）

理事：石田卓夫、藤田道郎、杉山大樹、皆上大吾、武信行紀、高橋雅、浅野和之、金井詠一、児玉和仁、小林哲也、井上明、中川貴之、細谷謙次、廉澤剛、古川敬之

監事 三宅龍二・水上浩一

議事録署名人：代表理事 石田卓夫、監事：三宅龍二、水上浩一

議事録作成：杉山大樹

出席理事 議決権のある総理事数 15名

メール送信日：2024年11月4日

返信期限：2024年11月10日正午

ご意見・ご質問返信：全員へのメール返信にて

投票返信先：投票フォーム

なお、期日までにやむを得ずに返信が頂けなかった場合は、承認いただいたものと判断した。

決議を明確にするため、2024年11月10日の決議事項について本議事録を作成し、議事録に押印する。

審議・決議事項：

第1号議案：愛玩動物看護師など会員区分の見直しに関して（資料1、2）

賛成多数により承認された。

第2号議案：年会費の見直しに関して（資料3）

賛成多数により承認された。

第3号議案：学会参加費の見直しに関して（資料4）

賛成多数により承認された。

第4号議案：会員区分変更に関する定款変更に関して（資料5）

賛成多数により承認された。

第5号議案：「日本獣医がん学会雑誌アワード（仮称）」実施内容詳細について（資料6）

賛成多数により承認された。

第6号議案：国際ジャーナルクラブへの参画に関して（資料7）

賛成多数により承認された。

第7号議案：一般口演およびポスター発表における英語での発表について（資料8）

賛成多数により承認された。

第 1 号議案 愛玩動物看護師など会員区分の見直しに関して

会長 石田卓夫

皆上大吾理事を通し、愛玩動物看護師有志からの要望書（資料 2）が本会に提出された。要望書には皆上理事の意見も添えられていた。

以下、皆上理事の意見

「愛玩動物看護師の国家資格化から早くも 5 年が経過しております。獣医腫瘍学分野が更なる発展を遂げるためには愛玩動物看護師とのチーム医療の確立が急務と思います。幸い志の高い愛玩動物看護師が育っているようですので、彼らで委員会を設置して今後の愛玩動物看護師における腫瘍学教育を推進することは、日本獣医がん学会にとって有益ではないでしょうか。可能であれば、本件に関して理事会にて審議をお願いしたくご連絡差し上げました。

ご検討のほど、よろしくお願い致します。」 以上

皆上理事のおっしゃる通り本会において愛玩動物看護師に正式な立場を用意することは必要なことと考えているが、要望書の内容を直ちに全て叶えることは時期尚早と判断する。まず着手すべきは会員区分の創設であり、実績を重ねた上で愛玩動物看護師委員会の設置・愛玩動物看護師対応プログラムなどの検討を進めるべきと考えている。会員区分の創設には定款の変更や会費、年会費の設定など多岐にわたる決めるべき事項が存在する。そのため、会長からの発議として愛玩動物看護師に関する複数の議案を提出する。

本議案では以下のように会員区分を見直すことを提案する。新たな会員区分を考慮する際に重要なのが正会員のうちの獣医師比率であり、これが下がると本会認定医制度が認定・専門獣医師評議会の認証を外される可能性がある。そのため愛玩動物看護師は正会員とせず、別に愛玩動物看護師会員という枠を作ることを考えた。

新会員区分に関し審議をお願いいたします。

現行会員区分

- ・正会員
- ・準会員
- ・賛助会員

新会員区分案（2025 年度から施行）

- ・正会員（獣医師に限る）
- ・愛玩動物看護師会員
- ・準会員（研修獣医師※・大学院生※、獣医学部学生※、動物看護系学生※、
メディカルスタッフなど）※は証明書の単年度毎提出
- ・賛助会員

メディカルスタッフとは、国家資格を有さなくて動物看護業を行う者や検査技師など、動物病院業に携わるものを指す。獣医師は認めない。

愛玩動物看護師会員の会員特典（joncol 配布等）は準会員に準ずるが、獣医腫瘍科認定医受験資格は有さないこととする。筆頭著者として本会学術雑誌への投稿も可能とする。

愛玩動物看護師有志からの要望書 (1/3page)

令和 6 年 7 月 18 日

日本獣医がん学会
会長 石田卓夫 先生

麻布大学 獣医学部
獣医保健看護学科
講師 小野沢栄里
岡山理科大学 獣医学部
獣医保健看護学科
准教授 佐伯香織

要望書

「日本獣医がん学会における愛玩動物看護師の会員枠および
愛玩動物看護師を主体とした委員会設置に関する要望」

獣医師の補助としての動物看護師は専修学校や各種学校による技術と方法論による技術教育主体から理論の応用と哲学を基にした学術体系である大学教育へと変化しています。この高等教育と動物看護学の研究を担うために大学院教育もおこなわれ、獣医保健看護学に関する博士号取得者も増えています。また、時代の変化と共に世の中の考え方も、単なる飼育動物から愛玩動物へと変わり、これまで様々な民間資格であった動物看護師の資格も、令和元年 6 月 28 日に愛玩動物看護師法が制定されて国家資格となりました。

愛玩動物看護師の定義には「愛玩動物の診療の補助や、疾病にかかった、または負傷した愛玩動物の世話や看護、愛玩動物の飼育者に対する愛護や適正な飼育に関する助言等を業とする者」となっており、獣医師とは異なる視点から愛玩動物に接することで、チーム獣医療の充実化をはかれることと、飼い主の良き理解者になると信じております。

私達は愛玩動物看護師かつ、愛玩動物看護師を育成する教育者であり、さらには獣医療と動物看護の研究者として、愛玩動物看護師の未来を考え導く存在としてありたいと考えています。まず私達が出来ることとして考えた事が、がんに罹患した動物に対する看護であります。獣医療における犬猫の死亡理由としてがんは常に上位であり、命に直結する疾患であることに加え、身体も心も QOL の維持がとても大切になります。がん治療を行う上で、がんについての幅広い知見を持つことに加え、担当動物の看護に関して相当の知識と技術を持ち、罹患した動物の家族に対して適切な助言と寄り添うことが出来る愛玩動物看護師が必要であると考えております。その様な愛玩動物看護師を育成するためにも、貴学会において担当動物に関するより高度な学術的知識と幅広い見識を修習することに大きな意義があると確信しております。さらには貴学会において高い専門性を持った愛玩動物看護師

愛玩動物看護師有志からの要望書 (2/3page)

を輩出できるように学会認定の愛玩動物看護師の専門資格制度を確立したいと考えております。

以上の理由から、私達は貴学会において、愛玩動物看護師の会員枠の設置と、愛玩動物看護師の正会員を主体とした委員会を設置して頂けるよう切に希望致します。ぜひ、貴学会において動物のがん医療に貢献が出来る場を愛玩動物看護師に与えていただけるようお願い申し上げます。

愛玩動物看護師有志からの要望書 (3/3page)

本要望に賛同する人の署名（発起人含む）

小野沢栄里 麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科 獣医臨床看護学研究室 講師

佐伯香織 岡山理科大学 獣医学部 獣医保健看護学科 伴侶動物看護講座 准教授

秋山蘭 日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医保健看護学科 人と動物の関係学
研究分野 助教

沖山さとみ 日本獣医生命科学大学 附属動物医療センター 愛玩動物看護師

杉原思穂 日本獣医生命科学大学 附属動物医療センター 愛玩動物看護師

木村萌江 日本獣医生命科学大学 附属動物医療センター 愛玩動物看護師

宮内麻羽 日本獣医生命科学大学 附属動物医療センター 愛玩動物看護師

金井優佳 あず動物病院 愛玩動物看護師

藤原千晶 若葉会動物病院 愛玩動物看護師

中村知尋 日本小動物医療センター 愛玩動物看護師

藤咲舞 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

根岸真由 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

大森慶子 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

館野友奈 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

野田純加 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

柏倉琴羽 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

遠藤さくら ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

君塚祥子 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

伊川恵美加 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

増子奈那 ALL 動物病院行徳 愛玩動物看護師

第2号議案 年会費の見直しに関して

会長 石田卓夫

第1号議案の新会員区分に関して、以下の年会費の案を提案する。ご審議お願いいたします。

現行会員区分

- ・正会員 10000 円
- ・準会員 5000 円
- ・賛助会員 50000 円

新会員区分案（2025年度から施行）

- ・正会員（獣医師に限る）10000 円
- ・愛玩動物看護師会員 5000 円
- ・準会員（研修獣医師※・大学院生※、獣医学部学生※、動物看護系学生※、
メディカルスタッフなど）※は証明書の単年度毎提出 5000 円
- ・賛助会員 50000 円

第3号議案 学会参加費の見直しに関して

会長 石田卓夫

第1号議案を踏まえて、新学会参加費案を提案する。ご審議お願いいたします。

現学会参加費

正会員 15000 円

準会員 11000 円

学部学生 無料

非会員 18000 円

新学会参加費案（2025年1月の第31回大会から施行）

正会員（獣医師に限る）15000 円

愛玩動物看護師会員 8000 円

準会員（大学院生・研修医）11000

準会員（メディカルスタッフ）8000 円

準会員（獣医学部学生・動物看護系学生）無料

非会員（獣医師）20000 円

非会員（獣医師以外）15000 円

第4号議案 会員区分変更に関する定款変更に関して

会長 石田卓夫

会員区分変更に対応するため、定款の変更を提案する。ご審議お願いいたします。

現行定款 (<https://www.jvcs.jp/about/regulation.html>)

第2章 会員

(種別)

第6条 当法人に、次の会員を置く。

- (1) 正会員 当法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 準会員 当法人の目的に賛同して入会した大学院生、大学の研究生、研修獣医師及び学生たる個人
- (3) 賛助会員 当法人の事業の推進に賛同して入会した団体又はその代表者
- (4) 名誉会員 特別に功績があったと認められる会員のうち社員総会で決定されたもの

定款変更案

第2章 会員

(種別)

第6条 当法人に、次の会員を置く。

- (1) 正会員：当法人の目的に賛同して入会した獣医師たる個人
- (2) 愛玩動物看護師会員：当法人の目的に賛同して入会した愛玩動物看護師たる個人
- (3) 準会員：当法人の目的に賛同して入会した大学院生、大学の研究生、研修獣医師及び獣医学部学生、動物看護系学生及びメディカルスタッフたる個人
- (4) 賛助会員：当法人の事業の推進に賛同して入会した団体又はその代表者
- (5) 名誉会員：特別に功績があったと認められる会員のうち社員総会で決定されたもの

第5号議案：「日本獣医がん学会雑誌アワード（仮称）」実施内容詳細について

雑誌編集委員会 藤田道郎委員長

2024年2月9日に実施された2023年度第2回日本獣医がん学会雑誌編集委員会で承認され、以下の(3)(ア)について理事会、さらに7月7日の総会で承認されました。

(3) その他；

(ア) アワードの設定について：

日本獣医がん学会雑誌にて掲載論文の中からアワードとして

「最優秀論文賞（仮称）」、「優秀論文賞（仮称）」を2年に1回実施することを理事会へ提案することとなった。

<提案理由>

1. 本会雑誌への論文投稿の意欲を高めるきっかけの一つとなり得る
2. 論文投稿後の目標が Accept だけに留まらず、アワードにまで及ぶことで、本会雑誌へ投稿することの価値をより高める
3. 本会会員の日々の研究意欲の向上の一助となり得ると想定される

さらに同総会にて詳細を確定することが提案され、「日本獣医がん学会雑誌アワード（仮称）」の費用・詳細について2024年度第1回日本獣医がん学会雑誌編集委員会を実施、各編集委員からの承認を経ましたので、以下(1)～(6)について、理事会にてご検討いただけますようお願い申し上げます。

(1) 日本獣医がん学会雑誌のアワードの名称について：

「日本獣医がん学会雑誌アワード」を名称とする。

(2) 日本獣医がん学会雑誌アワード（以下、当アワード）の受賞対象について：

日本獣医がん学会雑誌へ掲載された論文を対象とする。

(3) 当アワードの選考方法について：

(ア) 2年に1度

(イ) 日本獣医がん学会7月または1月開催の6ヵ月前より選考を開始

(4) 当アワードの審査対象論文について：

(ア) 2025年1月の社員総会でアワード予算申請承認の場合⇒

2023年1月～2024年12月に掲載された論文を対象とし、2025年7月に表彰

(イ) 2025年7月の社員総会でアワード予算申請承認の場合⇒

2024年1月～2025年12月に掲載された論文を対象とし、2026年1月に表彰

(5) 当アワードの各賞について：

(ア) 最優秀論文（1論文）、副賞：10万円+賞状

(イ) 優秀論文（2論文）、副賞：5万円+賞状

(ウ) 賞金の支払い方法、及び表彰状の準備について、事務局へ確認

(エ) 但し(ア)(イ)は「該当論文無し」とする場合もある

(6) 当アワード表彰式について：

日本獣医がん学会 会期中の日曜日の午後のプログラムの冒頭で授与式を実施する。

第 6 号議案：国際ジャーナルクラブへの参画に関して

国際情報委員会 小林哲也委員長

各国際団体（VCS, JVCS, ESVONC, ABRPVET, AMONCOVET）が主催で年 4 回、国際ジャーナルクラブを行うことになりました。担当者は論文をひとつ選び、それに関する内容や解釈の注意点などを文書でまとめる形式です。このジャーナルクラブの閲覧は自由ですが、発表したい JVCS 会員を募集することを考えております。国際ジャーナルクラブに参画すること、及び発表者を会員から募集することに関し、ご審議お願いいたします。

(資料8)

第7号議案：一般口演およびポスター発表における英語での発表について

臨床研究委員会 中川貴之委員長

これからの国際化、多様化に向け、日本獣医がん学会における一般口演ならびにポスター発表において、英語での発表も受け付けることを提案する。

大学院所属の留学生をはじめ国内からの新規発表者の開拓だけでなく、欧米やアジア圏からの発表といった国際化につながることを目指す提案である。実際の運用にあたっては、発表者に日本語補助者（指導教員等）がいる場合には、要旨は英語と日本語の併記を行い、発表に際しては英語対応可能な座長の選出や臨床研究委員会がサポートを行うなど円滑な発表となるよう対応したい。

お認めいただける場合には、次回の第32回日本獣医がん学会の演題募集から実施したい。

今後の本会主要日程

- 2024年12月後半：メール理事会予定（委員会業務報告、議案など事前にご用意ください）
- 2025年1月25-26日：第31回日本獣医がん学会・臨時社員総会（大阪ニューオータニ）
- 2025年7月5-6日：第32回日本獣医がん学会・社員総会（東京ニューオータニ）
- 2025年10月5日：認定医試験（新宿ベルサール）
- 2026年1月24-25日：第33回日本獣医がん学会・臨時社員総会（大阪ニューオータニ）
- 2026年7月4-5日：第34回日本獣医がん学会・社員総会（東京ニューオータニ）
- 2026年10月4日：認定医試験（仮：新宿ベルサール）

今後の理事・代議員改選日程

- 2025年4月：理事選挙実施
（公示4月1日、立候補受け付け4月1-7日、投票期間4月15-21日）
- 2025年5月：メール理事会で次期理事名簿決定
（総会選出理事の選任審議含む）
- 2025年5月：社員選挙実施
（被選挙権全会員、定員40名、公示5月1日、立候補受け付け5月1-7日、投票期間5月15-21日）
- 2025年7月学会定時社員総会で現社員で新理事名簿承認、定時社員総会終了をもって社員交代
→当日別室で新理事会開催：会長選出→新会長により早期に新組閣着手

2024年11月10日

議事録署名人

議長（会長） 石田 卓夫 ⑩

監事 三宅 龍二 ⑩

監事 水上 浩一 ⑩

議事録作成 杉山 大樹